

## 復興まちづくり意見交換会（5/17～5/25）の主な意見・要望等（速報）

### 1 インフラの早期再生と強靱化

- 1 道路の補修状況の情報を開示してほしい。
- 2 主要道の優先的復旧が必要。通行するたびに悪化している箇所も見られ、復旧だけでなく道路の強化をお願いしたい。
- 3 歩道の修繕が終わっていないため、車道を歩いている。通学路でもあり祭りもくるので対応が必要。
- 4 橋に発生している段差を修繕してほしい。
- 5 現在も道路と護岸が沖の方に少しずつ動き、隙間が広がっている。少しの波でも海水が溢れるので、対応が必要。
- 6 新港の埋立地は陥没が多い。水抜き工法の計画とかはないのか。
- 7 上下水道管の耐震化を進める予定があるか。
- 8 水道配管の複線化はできないか。
- 9 下水のマンホールが液状化で浮いており、応急措置はしてあるが、早く切り下げしてほしい。
- 10 林道について、ロードマップで説明があったとおり3年間で復旧されるのか。

### 2 暮らしと地域コミュニティの再建

- 1 公費解体の実施状況を公表してほしい。
- 2 自費解体の廃棄物を公費解体と同様に無償で受入れてくれるのか。
- 3 自費解体の道しるべを示してほしい。
- 4 今後の住まいに関して悩んでいるため、仮設住宅の居住期間を2年間に限定せず延長してほしい。
- 5 仮設住宅の除雪対応はどうなるのか。
- 6 災害公営住宅の入居時期はもっと早められるのではないか。
- 7 住宅解体後どうしたら良いかわからない。お年寄りが生涯住めるような住居を用意いただけると有難い。
- 8 津波被害があったため、高台に災害公営住宅を建設して安全に住めるという案を示してもらえると安心できるのではないか。
- 9 一部損壊の住宅にも修理費の支援をお願いしたい。
- 10 公費解体後の再建パターンやスケジュールがあるとわかりやすい。
- 11 宅地の危険度調査士を派遣して、応急復旧を伴奏支援いただきたい。
- 12 土地境界の調査費に対する支援をお願いしたい。
- 13 被災した集会所の修繕について、町の支援をお願いしたい。
- 14 全国事例を踏まえ、地域コミュニティを創造する新たな公民館（老朽化した公民館の改修）を検討してほしい。
- 15 被災した神社の再建について、町の補助があるか教えてほしい。

### 3 生業（なりわい）の再建

- 1 生業、経済がないと過疎が進む。
- 2 生業再建については後継者の問題とセットで考える必要がある。
- 3 前を向いていける事業所には、どんどん進みやすい政策を組んでほしい。
- 4 農機具の購入に係る補助制度などについて、面積要件を緩和してほしい。
- 5 農業の規模拡大への支援について、県が上乘せ支援するなら町も追随してほしい。
- 6 能登町といえばブルーベリーと言われる方策を出してほしい。
- 7 雇用は維持だけでなく、拡大が必要。
- 8 移住してでも能登の復興と仕事をしたいという人のため、雇用促進住宅のようなものがあればいい。
- 9 若者が戻ってきたときに働く場所があり、家族そろって暮らせる魅力ある町として復興してほしい。

### 4 安心して暮らし続けられるまちづくり

- 1 七尾に行かないと出産できないため、人口減を食い止めるためにも能登町内で病院を整備してほしい。
- 2 子どもが安心して遊べる場所が必要。（特に石川県の気候を考えると屋内で遊べる場所を整備してほしい）
- 3 子どもが安心して遊べる場所が必要。（海や山等の屋外で安全に遊べるよう見守りする方を配置できないか）
- 4 健康増進施設である「なごみ」を早期再開してほしい。
- 5 内浦球場や体育館の早期復旧をお願いしたい。
- 6 松波小学校の今後の復旧・修繕について教えてほしい。
- 7 松波小学校は、建て替えではなく、宇出津小学校との統合を検討してほしい。
- 8 学力格差の問題があるため、教育に力を入れてほしい。
- 9 高校生の通学や一般の方の買い物、病院通い等に不便であるため、バスの便を改善してほしい。
- 10 今回の地震を踏まえたハザードマップの更新・周知をお願いしたい。
- 11 次の災害に備え、避難所運営や備蓄物資等の防災対策を進めてほしい。
- 12 中学校の避難所環境は劣悪だった。発災を前提に生活インフラを構築するつもりがあるか。
- 13 避難所運営に携わっていたが、インターネットがつながらず、町民で閲覧できる人は限られたため、広報媒体は検討してほしい。
- 14 飲み水の確保のため、非常時に井戸を活用できるようにしてほしい。
- 15 津波対策をしっかりと計画に盛り込んでほしい。
- 16 津波被害があった地区として、防波堤を作るのか、高台に移るのか議論したい。
- 17 安心して暮らし続けるまちづくりには消防団が必要不可欠であり、重きを置いて考えてほしい。
- 18 志賀原発について、陸路避難の難しさが明らかになったため、宇出津港を整備し、海上避難を検討できないか。

## 5 復興プロジェクトの創出

- 1 スクールバスやコミュニティバスを自動運転の町にすることも可能でないか。
- 2 海洋深層水を活用した公衆浴場を整備してほしい。
- 3 廃校予定の小木中学校の体育館、校舎、グラウンドを復興に活用できないか。
- 4 小木地区から地の利を活かし、黒部魚津や糸魚川と海上交通をつなげることができないか。大規模な設備投資は不要で港湾施設の整備で実現可能と考えている。
- 5 2拠点や3拠点で生活する人に向け、素晴らしいまつり文化を伝える能登半島全てのまつりに参加するプロジェクトをやっても良いと思う。
- 6 発酵食（いしり）は防災保存食にも活用できるため、発展に向けて知恵を出し合いたい。
- 7 能登町が県内の消滅自治体ワースト1位との報道あり。若い人に能登町にきてもらえるよう、復興計画に盛り込んでほしい。
- 8 日本で一番魅力的な計画、夢のある計画を打ち出さないと、子ども・子育て世代・若い女性は残らない。

## 6 その他

- 1 意見交換会をこの時期に15回も開催するのは、能登町がいかに住民の声を大事にしながら進めようとしているのがよくわかる。
- 2 意見交換会は1回だけでなく参加しやすい時間帯も設定し、20代や30代の意見も取り入れるようにしてほしい。
- 3 今後、中学生や高校生等の若い方と意見交換をする予定はあるか。若い方の意見を聞いてほしい。
- 4 若い方だけでなく、年配の方へも配慮した復興計画としてほしい。
- 5 他地域における意見交換会における意見を聞いて、自分たちの地区独自の復興を考える必要があると思った。
- 6 能登町だけで復興するのではなく、近隣町村と連携した奥能登全体の復興計画が重要。
- 7 復興計画の作成プロセスについて、県や国からのフィードバックはあるか。策定後も適宜見直しが必要になると思うが、具体的方法はあるか。